



## ～お知らせ～

7月に入り暑い日が続きます。現場等での熱中症対策を徹底するようお願いいたします。

ここに来て新型コロナが“第7波”に入り青森、和歌山、愛媛など各地で過去最多となる感染確認が相次ぎ、全国の感染者は、今年2月以来の10万人を超えたと15日に発表されました。専門家によると「現在の感染者急増の背景にオミクロン株のうち感染力がより強いとされる「BA.5」の広がりや、ワクチン接種から時間がたって免疫の効果が下がってきていることがある」とのこと。現時点ではまん延防止等重点措置のような行動制限は必要ないという認識だそうです。



政府が示した「新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた熱中症予防のポイント」を抜粋しました。【マスクについて】マスクは飛沫の拡散防止に効果がある一方で、高温・多湿な環境では、熱中症のリスクが高くなります。熱中症を防ぐために、近距離（2メートル以内を目安）で会話するような場合を除いて、屋外ではマスクをはずしましょう。例えば、徒歩や自転車での通勤・通学時や、散歩やランニングといった運動時など、屋外での活動においては、マスクをはずしましょう。屋内においてもエアコン、扇風機や換気により暑さを避けながら、感染症対策をお願いします。屋内でも人との距離が確保できて、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着ける必要はありません。現場に出向く際の参考にして下さい。

今月は参議院選挙で国勢の如何はとと思っていましたが、まさかの安倍元総理の事件でした。絶対起こってはいけないことなのに。誰もが喪失感に襲われたのではないのでしょうか。心からご冥福をお祈りいたします。

“コロナにO型が強いのは血が固まりにくいから？ A型は死亡リスクが高い”  
血液型と病気の記事を読みました。出血の止まりやすさは、A型がもっとも強く、AB型とB型は中間で、O型がもっとも弱いとされています。大昔は、狩りや戦争で受けたケガが命取りになることも多かったことでしょう。しかし血が止まりやすいA型は、他の血液型よりも生き残るチャンスが高かったはずで、感染症に弱いA型が、感染症に強いO型と同じ程度にいまも繁栄しているのは、それが理由かもしれません。今は出血も感染症も、さほどの脅威ではなくなってきています。

しかし寿命が延びたおかげで、がんが大きな脅威になってきました。1981年に日本人の死因トップに躍り出てから今日まで、40年以上にわたって首位を維持し続けています。がんに対して有利なO型は、現代においては最強の血液型と断言していいでしょう。ところがO型が強いのは、がんだけではないのです。血の止まりやすさは、血の固まりやすさと同じです。そしてそれは「血栓のできやすさ」に関係してきます。破れた血管の外側にできるのがカサブタ、血管内で血が固まってできるのが血栓です。血栓は血管を詰まらせて、さまざまな病気を引き起こします。冠動脈が詰まれば心筋梗塞、脳の血管が詰まれば脳梗塞です。また足の腫れや痛みを起こす深部静脈血栓症や、突然死の原因のひとつである肺塞栓症（エコノミークラス症候群）も血栓が原因です。

新型コロナでも、血栓が生死や重症化の鍵を握っていると言われていています。国立研究開発法人・日本医療研究開発機構のホームページには、「COVID-19で死亡した患者の剖検（病理解剖）報告では、肺、心臓、その他の臓器の末梢毛細血管や細動静脈内に広範に存在する

微小血栓が認められており、多臓器不全との関連が想定されている」と記されています。実際、重症患者には、ヘパリンなど抗凝固薬の投与が推奨されています。新型コロナの重症化や死亡リスクが、A型がもっとも高く、O型がもっとも低いことと考え合わせると、なるほどと納得できる気がしてきます。（HPから）

**「3つの密を避けましょう！」** ①密室空間 ②密集場所 ③密接場面  
**「新しい生活様式」の実践**



**「ウィークリースタンスの徹底を」** お願いします

- ①昼休みや16時以降開始の打合せは行わない
- ②休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない
- ③休前日（金曜日）は新たな依頼をしない
- ④ノー残業デー（水曜日）は勤務時間外の依頼はしない



○必見！ ホームページをリニューアルしました！ 新たな情報等があれば教えてください  
[www.hokurikuyouchi.co.jp](http://www.hokurikuyouchi.co.jp)

○お願い！ 「Aipo」を活用しましょう